

< 豊明市特別職報酬審議会（第2回）議事録 >

1 日 時

平成 20 年 2 月 7 日（木）

午後 1 時から午後 2 時 30 分まで

2 場 所

豊明市役所 本館 3 階 会議室 1A

3 出席者

委 員：8 名（相羽幹夫、稲垣由美子、梶田陽三、古賀順子、
都築和男、遠山仁照、内藤昌裕、森田哲夫）

事務局：企画部長、企画部次長兼人事秘書課長、人事秘書課長補
佐（人事担当）、人材開発担当係長、矢野主査

4 欠席者

なし

5 会長あいさつ

全委員の出席をいただき、感謝いたします。できれば本日、答申
をまとめたいと思いますのでよろしく願います。

6 審 議

（会 長） 本支配付資料について、事務局の説明を求めます。

（事務局） 前回資料 3 の更新書類に基づき説明をなす。

（会 長） 新聞報道によると、近隣の 2 町でもごく最近に答申がな
され、いずれも据え置き答申であったようです。事務局からの説明
について、何かご質問は。

（委 員） 少し視点の異なる質問ですが、市の財政が逼迫している
ということで、廃止や規模縮小となる事業もあるのか。とよあけマ
ラソンがなくなり、まつりも縮小されると聞いたが本当か。

（事務局） とよあけマラソンは休止し、豊明まつりも予算規模とし
ては縮小の予定。3 月号の広報にて、縮小事業と拡大事業の予定につ
いてお知らせする記事を掲載する準備をしております。

（会 長） 各種補助金等も減額されるように聞いています。

- (委員) 拡大する事業の予定がわかれば、参考までに教えてほしい。
- (事務局) あくまで予定として。乳幼児医療、妊産婦健診、消防南部出張所建設、校舎の耐震化等です。
- (会長) それでは、結論に向けて、各委員のご意見を伺います。
- (委員) 心情的には、議員定数の4減による職責の重みを考慮すべきではないかという思いはある。しかし、市の財政状況は大変厳しく、特に基金残高が14年度と18年度を比較すると半分以下。これは過去にないこと。財政力指数についても、ギリギリで1.0を超えたというのは、交付金がなくなって逆に苦しくなる。近年、市税増の状況もあるが、先行きは不透明。人事院勧告についても、増額は部分的なもの。心情的には引き上げも検討の題材とすべきとは思いますが、状況としてはなかなか難しい。私としては据え置き結論。
- (委員) 先の委員と同様の考え方。私の結論も据え置き。
- (委員) 税収は近年伸びている状況もあるが、必ずしも好況の影響とは言えない。議員定数4減についても、市民感情としてはいろいろある。据え置き結論で。
- (委員) 情報も不足がちで、一般的には知られていない面が多いとも思うが、あらゆる補助金に何らかのカットがあると思ってよい。マラソンの休止、まつりが1日になる等の話を聞くが、市の財政状況がそこまできているのかな、という印象。いまの状況は、過去からの負の遺産ということもあるが、過去は過去として、頑張っって新しいことをやってほしい。結論としては据え置き。商工業活性化にも期待をしたい。衰退は、市としての税収減にもつながる。
- (委員) 結論は据え置き。議員定数4減についても、改選して1年目でもあり、期待も込めて据え置き。他団体との均衡的にも、バランスはとれている。実感として、このままでよいかなと思う。
- (委員) 都市別財政状況の資料から見ても、今の報酬は妥当かなと思う。引き上げについても考慮はしてみたが、税収の伸びも今後の動向の確証はない。報酬についても、優先順位として何を優先し

て決めるか。市の予算の中でどうするか。他団体と比べる前に、そのことをしっかり見据える必要がある。

(委員) やや厳しい意見かもしれないが、財政的な見地からイベントを控えなければならないような時に、報酬の引き上げはどうかと思う。ラベンダー事件などの顛末も、うやむやですまされそうな印象の中、検討の方向性にちょっと引っかかる。私としては、据え置きか、引き下げてもよいくらいだと思う。

(会長) 各委員の意見をお聞きした結果、結論としては据え置きであるということで一致したと見受けます。本審議会として全員一致で据え置きと決定してよろしいか。

全出席委員異議なし

(会長) 異議なしと認め、本審議会として全員一致で据え置きの結論と決めます。答申書(案)ができるまで休憩とします。

(休憩 13:20~13:30)

(会長) 答申書(案)ができましたので事務局にて朗読を。

(事務局) 引き上げの方向の意見と、引き下げるべきという意見もありました。多角的な審議をいただいた結果、結論としては据え置きであるということで(案)を作成しました。

答申書(案)を朗読。

(会長) この(案)について、ご意見はありませんか。

(委員) 思いをもう少し。期待を込めての据え置きだということ、もう少し入れてほしい。

(委員) そのとおり。すっきりまとまりすぎていて、すんなり据え置きとされたという印象を持つ。

(委員) 思いを文章として表現するのが、なかなか難しい。

(委員) 答申書を市長に渡す際に、そういった委員の思いを会長から言葉として伝えてもらってはどうか。

(委員) 審議結果として外部に出てゆく答申書の表現にもう少し思いを込めたいという気持ちがある。

(委員) 市民感情を代表するなら下げる方向か。しかし、ギリギ

りで据え置きであるという文章を残した方がよいかもしれない。

(委員) 最初に景気動向に触れた部分で「順調に回復してきましたが、」とあるが、回復したと断定してよいものか。

(会長) 統計的な数字では回復もしているが、実感としてどうなのかな、というところか。

(委員) 経済指標から見れば回復はしている。ただ、格差社会とも言われ、多くの人々の実感として果たしてどうか。

(会長) それでは、答申書の 1 行目、「順調に回復してきましたが、」を「回復の兆しが見えてきたものの、」と変更することでよろしいか。

全出席委員異議なし

(委員) 最後の 5 行がポイント。厳しい財政状況だが、据え置いて頑張っていたと、ということをも市民の方に伝える意味でも、引き下げの意見があったことを結論の前に入れたらどうか。

(会長) 引き下げもやむを得ないとは思いますが、期待を込めて据え置く、というような表現を入れるかどうか。

(委員) 私としては、下げるべきという意見は持っていない。入れるなら、一部の委員としてほしい。

(委員) 据え置きという結論では皆さん一致している。

(委員) 引き上げと引き下げ、2つの方向性の議論があったということをも答申書に表現できないのなら、審議経過として伝達していただく必要がある。

(委員) 議事録としては、市ホームページでも公表される。

(委員) 「一部の委員から厳しい意見も出ましたが、」としてはどうか。

(会長) それでは、答申書の 16 行目の結びの部分について、「その結果、委員全員一致で据え置くことが適当であると判断します。」を「一部委員から引き下げという厳しい意見も出ましたが、審議の結果、委員全員で今後の期待も込めて、据え置くことが適当であると判断します。」と変更することでよろしいか。

(委員) あくまで一部委員という表現であれば、構わない。

全出席委員異議なし

(会 長) 指摘のあった箇所を修正した答申書(案)ができるまで休憩とします。

(休憩 14:10~14:15)

(事務局) 指摘のあった変更箇所について確認と説明。

(会 長) この内容で答申することにご異議はありませんか。

(委 員) すっきりしました。

全出席委員異議なし

(会 長) 異議なしと認め、これで答申と決めます。それでは、答申書の準備ができるまで休憩とします。

(休憩 14:18~14:20)

市長入室(14:20)

7 答申書手交

会長より市長へ、答申書を朗読のうえ手交。

8 市長あいさつ

的確に、広域的かつ緻密な検討をいただき感謝いたします。本市の現状は、予断を許さない状況。いただいた答申を尊重し、今後も行政運営に当たってゆきたい。

9 会長あいさつ

2回にわたる審議へのご協力ありがとうございました。委員の皆様の慎重な審議の結果として、無事に市長への答申を行うことができました。これをもちまして豊明市特別職報酬審議会を閉会します。

午後2時30分 閉会